

資 料

歴代センター長

2021年度 国際言語センターの専任教員

2021年度 日本語コースの担当者

2021年度 大学院・学部授業担当および学位審査論文

2021年度 国際言語センター教員研究業績

2021年度 国際言語センター全学委員会委員

国際言語センター沿革

歴代国際言語センター長

留学生センター

初代	馬越 徹	1993年4月～1995年3月
第二代	石田 眞	1995年4月～1999年3月
第三代	塚越 規弘	1999年4月～2001年3月
第四代	末松 良一	2001年4月～2005年3月
第五代	江崎 光男	2005年4月～2007年3月
第六代	石田 幸男	2007年4月～2011年3月
第七代	町田 健	2011年4月～2013年9月

国際言語センター

初代	福田 眞人	2013年10月～2017年3月
第二代	大室 剛志	2017年4月～2019年3月
第三代	木下 徹	2019年4月～2021年3月
第四代	堀江 薫	2021年4月～2022年3月
第五代	佐久間淳一	2022年4月～

2021年度 国際言語センター専任教員

センター長 堀江 薫 (2021年4月～2022年3月)

日本語・日本文化教育部門

教授	浮葉 正親
教授	許 明子 (部門長)
准教授	石崎 俊子
准教授	李 澤熊
准教授	佐藤 弘毅
准教授	俵山 雄司
准教授	永澤 濟

2021年度 国際言語センター開設日本語コースの担当者

※(主)は、各コースのコーディネーター(主担当)

1. 日本語研修コース

〈春学期：第84期，秋学期：第85期〉

佐藤 弘毅(主)	藤森 秀美
大野 陽子	安井 澄江
関 ソラ	

2. 上級日本語特別コース

〈春学期：第40期〉

許 明子(主)	呉 禱受
永澤 済	香川由紀子
石川 公子	中川 康子

〈秋学期：第41期〉

許 明子(主)	呉 禱受
永澤 済	香川由紀子
内山喜代成	古田 梨乃

3. 全学向け日本語プログラム(初級・中級・上級レベル)

俵山 雄司(主)	服部 淳
李 澤熊	藤田 祐史
佐藤 弘毅	関 ソラ
香川由紀子	安井 澄江
加藤 淳	石川 公子(春のみ)
栗木 久美	大野 陽子(春のみ)
宗林 由佳	中川 康子(春のみ)
滝 理江	小川 美香(秋のみ)
田中 典子	宮崎 恵子(秋のみ)
西田 瑞生	

4. 全学向け日本語プログラム(入門講義)

李 澤熊	許 明子
藤田 祐史	

5. 短期留学生日本語プログラム(NUPACE)

石崎 俊子(主)	関 ソラ
李 澤熊	安井 澄江
佐藤 弘毅	石川 公子(春のみ)
香川由紀子	内山喜代成(春のみ)
加藤 淳	呉 禱受(春のみ)
栗木 久美	大野 陽子(春のみ)
宗林 由佳	中川 康子(春のみ)
田中 典子	小川 美香(秋のみ)
西田 瑞生	古田 梨乃(秋のみ)
服部 淳	宮崎 恵子(秋のみ)
藤田 祐史	

6. 学部留学生を対象とする言語文化科目「日本語」

許 明子(主)	鷲見 幸美
石崎 俊子	俵山 雄司
佐藤 弘毅	

7. 名古屋大学短期日本語プログラム(NUSTEP)

許 明子(主)	香川由紀子
井上 里鶴	宗林 由佳

8. 日本語サマーコース

佐藤 弘毅(主)	藤森 秀美
俵山 雄司	関 ソラ
内山喜代成	

9. 日本語スプリングコース

俵山 雄司(主)	田中 典子
栗木 久美	関 ソラ

10. APRU/VSE コース

許 明子 (主) 田中 典子 (春のみ)
香川由紀子 井上 里鶴 (秋のみ)
宗林 由佳

2021年度 授業担当および学位論文審査

I. 授業担当 (大学院・教養教育院)

1. 大学院

人文学研究科 (国際言語文化研究科の担当科目名は省略)

許 明子: 現代日本語学研究 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

現代日本語学研究 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

日本語意味論特殊研究 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

日本語意味論特殊研究 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 I a (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 I b (秋学期 1 コマ 2 単位)

李 澤熊: 日本語意味論総合演習 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

日本語意味論総合演習 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

日本語文法論 I (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 II a (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 II b (秋学期 1 コマ 2 単位)

永澤 済: 日本語語彙論特殊研究 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

日本語語彙論特殊研究 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

日本語文法論 II (秋学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 III a (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 III b (秋学期 1 コマ 2 単位)

俵山雄司: 日本語談話分析総合演習 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

日本語談話分析総合演習 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

応用日本語学研究 II
(春学期 1 コマ 2 単位)

比較社会文化論
(春学期 1 コマ 2 単位, オムニバス 1 コマ担当)

博士論文研究 VII a (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 VII b (秋学期 1 コマ 2 単位)

石崎俊子: 日本語教材開発総合演習 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

日本語教材開発総合演習 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

応用日本語学研究 III
(秋学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 VI a (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 VI b (秋学期 1 コマ 2 単位)

佐藤弘毅: 日本語教育学特論 a
(春学期 1 コマ 2 単位)

日本語教育学特論 b
(秋学期 1 コマ 2 単位)

応用日本語学研究 IV
(秋学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 V a (春学期 1 コマ 2 単位)

博士論文研究 V b (秋学期 1 コマ 2 単位)

2. 教養教育院

浮葉正親: 基礎セミナー A (春学期 1 コマ 2 単位)

石崎俊子: 基礎セミナー A (春学期 1 コマ 2 単位)

許 明子: 基礎セミナー B (秋学期 1 コマ 2 単位)

佐藤弘毅: 理系基礎科目 (文系) 「情報リテラシー (文系)」
(春学期 1 コマ 2 単位)

許 明子: 全学基礎科目 「日本語 (口頭表現) 1」
(春学期 1 コマ 1.5 単位)

俵山雄司: 全学基礎科目 「日本語 (口頭表現) 1」
(春学期 1 コマ 1.5 単位)

佐藤弘毅: 全学基礎科目 「日本語 (口頭表現) 1」
(春学期 1 コマ 1.5 単位)

許 明子: 全学基礎科目 「日本語 (文章表現) 1」
(春学期 3 コマ 1.5 単位)

石崎俊子: 全学基礎科目 「日本語 (文章表現) 1」
(春学期 1 コマ 1.5 単位)

許 明子：全学基礎科目「日本語（口頭表現）2」 （秋学期1コマ 1.5単位）	（秋学期1コマ 1.5単位）	佐藤弘毅：全学基礎科目「日本語（文章表現）2」 （秋学期1コマ 1.5単位）
石崎俊子：全学基礎科目「日本語（口頭表現）2」 （秋学期1コマ 1.5単位）		許 明子：全学基礎科目「上級日本語（文章表現）1」 （春学期1コマ 1.5単位）
許 明子：全学基礎科目「日本語（文章表現）2」 （秋学期1コマ 1.5単位）		許 明子：全学基礎科目「上級日本語（文章表現）2」 （秋学期1コマ 1.5単位）
俵山雄司：全学基礎科目「日本語（文章表現）2」		

Ⅱ. 学位（博士）論文審査

○許 明子（主査）

論文提出者：肖宇彤（人文学研究科）

提出論文：中国人日本語学習者の意見文に関する
研究 ―日本語教育現場における有効
な指導法をめざして―

○石崎俊子（副査）

論文提出者：肖宇彤（人文学研究科）

提出論文：中国人日本語学習者の意見文に関する
研究 ―日本語教育現場における有効
な指導法をめざして―

○俵山雄司（副査）

論文提出者：肖宇彤（人文学研究科）

提出論文：中国人日本語学習者の意見文に関する
研究 ―日本語教育現場における有効
な指導法をめざして―

○李 澤熊（主査）

論文提出者：栗木久美（人文学研究科）

提出論文：日本語次元形容詞の意味研究 ―認知
言語学の観点から―

○永澤 済（副査）

論文提出者：栗木久美（人文学研究科）

提出論文：日本語次元形容詞の意味研究 ―認知
言語学の観点から―

○李 澤熊（主査）

論文提出者：大志民彩加（人文学研究科）

提出論文：現代日本語におけるカテゴリーを形成
する派生語の意味分析

○永澤 済（副査）

論文提出者：大志民彩加（人文学研究科）

提出論文：現代日本語におけるカテゴリーを形成
する派生語の意味分析

2021年度 国際言語センター教員研究業績

李 澤熊

〈論文〉

- 1) 李澤熊 (2022) 「動詞「増える」の意味分析－日本語教育の観点から－」『名古屋大学人文学研究論集』(5), pp.161-175, 名古屋大学人文学研究科
- 2) 李澤熊 (2021) 「「広げる」と「広める」の類義語分析－フレームの観点から－」『日本認知言語学会論文集』, 21巻, pp.440-445, 日本認知言語学会

〈口頭発表〉

- 1) 李澤熊 (2021) 「動詞「ふやす」の意味分析－schematic-network modelの観点から－」『2021年度第66回 秋季国際學術大會』, 大韓日語日文学会

〈辞書〉

- 1) web 基本動詞ハンドブック『送る・贈る』執筆, 国立国語研究所
- 2) web 基本動詞ハンドブック『生まれる・産まれる』執筆, 国立国語研究所
- 3) web 基本動詞ハンドブック『増やす・殖やす』執筆, 国立国語研究所
- 4) web 基本動詞ハンドブック『増える・殖やす』執筆, 国立国語研究所
- 5) web 基本動詞ハンドブック『広める』執筆, 国立国語研究所
- 6) web 基本動詞ハンドブック『広まる』執筆, 国立国語研究所

石崎俊子

〈論文〉

- 1) 石崎俊子 (2022年3月) 「ケース学習を導入した共修クラスでの異文化理解に対する意識変容」『日本語・日本文化論集』第29号, pp.97-115

〈実践報告〉

- 1) 石崎俊子 (2022年3月) 「初級コースにおけるオンラインテスト作成と改善」『名古屋大学国際機構国際言語センター年報第8号』 pp.18-19

〈口頭発表〉

- 1) 石崎俊子 (2021年8月) 「協働学習を取り入れた初級日本語オンライン授業の試み」CASTEL/J2021, 2021年8月11日～12日
- 2) 石崎俊子・ソレンセン和子・藤本憲志・樋田祥子・池城恵子 (2021年8月) 「THE BIG TREE～日本語でビジネス・トーク～」第23回英国日本語教育学会 (BATJ) 年次大会, 2021年9月11日～12日

佐藤弘毅

〈口頭発表〉

- 1) 佐藤弘毅 (2022) 「受講者からのフィードバックをリアルタイムに収集・共有するツールを用いたオンライン授業の効果に関する分析」『教育システム情報学会研究報告』第36巻, 第6号, pp.102-108

俵山雄司

〈論文〉

- 1) 俵山雄司 (2022) 「オンラインの特性を生かした多読活動」『日本語教育方法研究会誌』28-2, pp.138-139, 日本語教育方法研究会.

永澤 清

〈論文〉

- 1) 永澤清 (2022) 「現代日本語における「地味に」の新用法－様態副詞から程度副詞・叙法副詞へ－」『名古屋大学日本語・日本文化論集』第29号, pp.25-49
- 2) 永澤清 (2022) 「人間形成を目的とした大学日本語教育の実践研究－日本語口頭表現の授業を通して－」『名古屋大学人文学研究論集』第5号, pp.177-193

〈口頭発表〉

- 1) 永澤清 (2022) 「判決文の文法と表現の分析に向けて」テキストの中の文法第2回研究会, 2022年3月24日

〈アウトリーチ活動〉

- 1) 出前講義「言語の達人になろう」, 愛知県立豊田西

高等学校「豊西総合大学講座」, 2021年11月18日

(2021年12月11日～12日)

許 明子

〈論文〉

- 1) 許明子・李嘉隆・謝カン月 (2022年3月) 「COVID-19の影響による外国人留学生の不安に関する一考察—文系大学院生を対象としたPAC分析の結果を通して—」『日本語・日本文化論集』第29号, pp.1-23
- 2) 許明子・李嘉隆・謝カン月 (2022年3月) 「断り場面における中国人日本語学習者の理由説明について—口頭による談話完成テストを通して—」『日本語教育方法研究会誌』Vol.28 No.2, pp.120-121

〈実践報告〉

- 1) 許明子 (2022年3月) 「「わかる」から「使える」ようになるための中級文法クラスの実践—NUCTを活用した自己訂正能力向上を目指した実践—」『名古屋大学国際機構国際言語センター年報第8号』pp.20-21
- 2) 許明子・宗林由佳・香川由紀子 (2021年9月) 「名古屋大学短期日本語研修プログラム (NUSTEP) の実践報告」『第57回日本語教育方法研究会誌』Vol.28 No.1, pp.78-79

〈口頭発表〉

- 1) 許明子・西澤萌希 (2021年6月) 「日本語母語話者と日本語学習者の視点の捉え方と表現形式」日本語プロフィシエンシー研究会10周年記念シンポジウム, 2021年6月26日～27日
- 2) 許明子・李嘉隆・謝カン月 (2021年12月) 「文系中国人留学生のコロナ禍における不安について—未渡航による影響に注目して—」第15回PAC分析学会

- 3) 許明子・李嘉隆・謝カン月 (2022年3月) 「断り場面における中国人日本語学習者の理由説明について」第58回日本語教育方法研究会 (2022年3月15日)
- 4) 許明子 (2022年3月) 「COVID-19の影響による留学生の心理的不安の解明及び勉学状況等に関する現状の分析」アジア共創教育研究機構シンポジウム「ネオ・ソサエティの課題解決へ—大学のプラットフォームの役割とは」(2022年3月10日)

〈講師〉

名古屋大学男女共同参画センター・学術研究・産学官連携推進本部共催「2021年度研究者リーダーシップ・プログラム」第2回講師

〈外部資金〉

○科学研究費助成事業

- ・研究種目名：基盤研究 (C) (一般)
- ・課題番号：19K00707
- ・研究課題名：日韓中の接触場面における対人関係構築とコミュニケーションスタイルに関する対照研究
- ・補助事業期間：平成31年度 (令和元年) ～令和5年度

○プロジェクト

- ・プロジェクト名：アジア共創教育研究機構融合プロジェクト
- ・プロジェクト課題：「COVID-19の影響による留学生の心理的不安の解明及び勉学状況等に関する現状の分析」
- ・プロジェクト期間：令和3年7月～令和4年3月
- ・プロジェクト予算：431,800円

国際言語センター全学委員会委員

令和3年度 国際機構全学委員会委員 (2021年4月～)

委 員 会 名	国際言語センター	任期	期 間
国際機構会議	センター長 許 明子		5号委員 6号委員
国際戦略分科会	センター長		3号委員
国際教育運営委員会	許 明子	2年	2021年4月1日～2023年3月31日
国際教育交流実施委員会	石崎 俊子		3号委員
	許 明子		3号委員
全学教育企画委員会	許 明子	2年	4号委員, 2020年4月1日～2022年3月31日
学生支援本部会議委員会	許 明子		3号委員
附属図書館商議委員会オブザーバー	佐藤 弘毅	2年	2020年4月1日～2022年3月31日
情報セキュリティ組織連絡協議会	佐藤 弘毅		
教養教育院統括会議オブザーバー, 言語文化部門日本語部会主査	許 明子	1年	2021年4月1日～2021年3月31日
全学同窓会幹事会	李 澤熊		
こすもす保育園運営協議会	石崎 俊子	2年	2020年4月1日～2022年3月31日

令和3年度 国際機構 国際教育交流センター・国際言語センター内部委員会委員 (2021年4月～)

委員会名	部会・WG	国際言語センター	備考
総務委員会	特昇 WG	許	
財務・施設委員会	経理・整備 WG	許・佐藤	
	情報セキュリティ WG	佐藤・石崎	
	安全・防災部会	許・永澤・石崎	
教務委員会		石崎・俵山・許	国際言語センターの教務委員会
NUSTEP 運営委員会		許・石崎	NUSTEP の実施等を審議する委員会
広報委員会	広報部会	佐藤・俵山・李	国際言語センターの年報の編集委員
	ホームページ部会	石崎・佐藤	
	FD 委員会	俵山・石崎	H30より国際言語センター新設委員会
	日本語・日本文化論集編集部会	許・俵山・浮葉	

国際言語センター沿革

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門
1977	語学センターが非常勤講師による外国人留学生のための日本語教育を開始	
1978	専任講師着任, 「全学向け日本語講座」授業開始	
1979	語学センターと教養外国語系列が総合され, 総合言語センター発足 総合言語センターの1部門として「日本語学科」設置 「日本語研修コース」開講	
1981	「日本語・日本文化研修コース」開講	
1984	教養部在籍留学生対象一般教育外国語科目「日本語」開講	
1991	総合言語センターが言語文化部に改組。それに伴い一般教育外国語科目「日本語」は言語文化科目「日本語」として開講される	
1993. 4	学内共同教育研究施設として, 「留学生センター」設置 (「日本語・日本文化教育部門」・「指導相談部門」の2部門体制) 留学生センターとして, これまで通り「全学向け日本語講座」「日本語研修コース」「日本語・日本文化研修コース」言語文化科目「日本語」を開講	
1994. 4	留学生センター研修生規定が定められ, (1994.2), 研修生の受け入れ開始	
1996. 4	短期留学生対象日本語授業開始	
1998. 4	インターネットによる WebCMJ のオンライン開始	
1999. 4		「日本語教育メディア・システム開発部門」発足 (留学生センター4部門体制となる)
8		担当助教授着任 (ハリソン)
2000. 4		二人目の担当助教授着任 (大野)
2001. 3	留学生センター新棟完成	
2003. 3	教授1名退任 (藤原)	
4	講師1名採用 (李)	
2004. 2		助教授1名転任 (ハリソン)
3	助教授1名退任 (神田)	
4		WebCMJ 多言語版開発 オンライン読解・作文コース開始
11		助教授1名採用 (石崎)
2005. 3		助教授1名転任 (大野)

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門
2005. 4	日本語プログラムの再編成 1) 全学日本語プログラム(集中コース, 標準コース, 漢字コース, 入門講義, オンライン日本語コース) 2) 特別日本語プログラム(初級日本語特別プログラム, 上級日本語特別プログラム, 学部留学生向け日本語授業, 日韓理工系学部留学生プログラム)	教授1名日本語・日本文化教育部門から配置換え(村上) オンライン漢字コース開始
5	留学生センターホームページ改訂	
6	講師1名採用(佐藤)	
2006. 3	教授1名転任(尾崎)	
4	助教授1名採用(衣川)	現代日本語コース中級聴解 CD-ROM 開発
5	教授1名昇任(靱山)	
10		現代日本語コース中級聴解 Web 開発
2007. 2		現代日本語コース中級聴解 Web 課金開始
6	准教授1名昇任(李)	
2008. 3		JEMS オンライン日本語教育ポータルサイト開発
2009. 11	特任准教授1名着任(初鹿野:国際交流協推進本部)	
2010. 2	特任准教授1名着任(徳弘:国際交流協推進本部)	
2011. 3		TNeとよた日本語eラーニング会話編(市役所, 病院, 学校)完成 TNeとよた日本語eラーニング文字編(ひらがな, カタカナ, 履歴書)完成
2012. 3		WebCMJ 多言語版完成(17言語) 「名古屋大学日本語コース中級I&II」オンライン及びデジタル版の開発 TNeとよた日本語eラーニング会話編5カ国版完成 TNeとよた日本語eラーニング文字編5カ国版完成
2013. 4	教授2名昇任(浮葉, 衣川)	
10	国際交流協力推進本部改編に伴い, 留学生センター日本語・日本文化教育部門及び日本語教育メディア・システム開発部門は, 「国際言語センター」に改組(「日本語・日本文化教育部門」・「英語教育部門」の2部門体制)。	
2014. 4	准教授1名昇任(佐藤)	
2015. 2	国際言語センターホームページ改訂	
3	教授1名定年退職(村上)	
4	准教授1名採用(俵山)	
2016. 2	G30日本語教育担当教員2名「国際教育交流センター」へ配置換え	
3	教授1名定年退職(鹿島)	
4	講師1名採用(永澤)	
2018. 1	准教授1名昇任(永澤)	
3	教授1名転任(靱山)	

日本語・日本文化教育部門	
2018. 10	教授 1 名着任（許）
2019. 3	教授 1 名転任（衣川）
2021. 11	教授 1 名退職（浮葉）
2022. 3	准教授 1 名転任（永澤）